

近畿厚生局長 殿

開設者名 学校法人 大阪
理事長 植木

印

大阪医科大学附属病院に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成23年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	71人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	486人	189人	533.5人	看護補助者	114人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	13人	16人	15.9人	理学療法士	25人	臨床検査技師	62人
薬剤師	49人	11人	56.6人	作業療法士	9人	臨床検査衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	9人	その他	0人
助産師	21人	5人	23.7人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧	0人
看護師	729人	40人	760.7人	臨床工学技士	17人	医療社会事業従事者	6人
准看護師	6人	2人	7.8人	栄養士	0人	その他の技術員	11人
歯科衛生士	2人	1人	2.3人	歯科技工士	2人	事務職員	144人
管理栄養士	16人	3人	18.8人	診療放射線技師	44人	その他の職員	118人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	693.3人	3.8人	697.1人
1日当たり平均外来患者数	1,904.9人	88.1人	1,993.0人
1日当たり平均調剤数	入院 786.4、外来 253.9、合計 1040.3		剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

近畿厚生局長
24.10.-5
第1005号
第33

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	39人
色素性乾皮症の遺伝子診断	12人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	10人
泌尿器生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ郭清術	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
神経症状を呈する脳放射線壊死に対する核医学診断及びベバシズマブ静脈内投与療法	7人
血液透析併用バルーン塞栓動脈内抗がん剤投与及び放射線治療の併用療法	22人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	40人	・膿疱性乾癬	0人
・多発性硬化症	36人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・重症筋無力症	46人	・原発性胆汁性肝硬変	35人
・全身性エリテマトーデス	146人	・重症急性膵炎	8人
・スモン	2人	・特発性大腿骨頭壊死症	14人
・再生不良性貧血	11人	・混合性結合組織病	30人
・サルコイドーシス	52人	・原発性免疫不全症候群	1人
・筋萎縮性側索硬化症	25人	・特発性間質性肺炎	6人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	173人	・網膜色素変性症	30人
・特発性血小板減少性紫斑病	30人	・プリオン病	2人
・関節性動脈周囲炎	39人	・肺動脈性肺高血圧症	17人
・潰瘍性大腸炎	85人	・神経線維腫症	16人
・大動脈炎症候群	7人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	5人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	4人
・天疱瘡	31人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	3人
・脊髄小脳変性症	25人	・ライソゾーム病	1人
・クローン病	50人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	8人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	2人
・悪性関節リウマチ	10人	・脊髄性筋萎縮症	1人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	135人	・球脊髄性筋萎縮症	1人
・アミロイドーシス	11人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	14人
・後縦靭帯骨化症	16人	・肥大型心筋症	38人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	0人	・ミトコンドリア病	7人
・フェゲナー肉芽腫症	14人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	3人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	38人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	11人	・黄色靭帯骨化症	0人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	68人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・腹腔鏡下肝切除術	・
・内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	・
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	・
・	・
・	・
・	・
○	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

○「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1ヶ月に10回程度
部 検 の 状 況	部検症例数 32 例 / 部検率 8.98%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
モデルマウスを用いた劇症1型糖尿病治療法の開発	花房 俊昭	糖尿病代謝・内分泌内科	900,000	補 科学研究費補助金 基盤研究C
劇症1型糖尿病患者血清の蛋白質間相互作用解析を用いた新規インスリン様分子の同定	寺前 純吾	糖尿病代謝・内分泌内科	800,000	補 科学研究費補助金 基盤研究C
ω -3多価不飽和脂肪酸による核内受容体を介した多発性硬化症の新たな病態制御	土居 芳充	神経内科	2,500,000	補 科学研究費補助金 若手研究B
PPAR α agonistが高血圧・糖尿病動物モデルの心脂質量・心機能に与える影響の検討	石坂 信和	循環器内科	1,200,000	補 科学研究費補助金 基盤研究C
炎症性動脈瘤・感染性動脈瘤の診断規準策定のための包括的検討	石坂 信和	循環器内科	1,000,000	補 厚生労働省疾病・障害対策研究分野 新型インフルエンザ等新興・再興感染症研
間歇的低酸素負荷に伴う臓器別ストレス応答とラジカルスカベンジによる新たな治療戦略	林 哲也	循環器内科	2,600,000	補 科学研究費補助金 基盤研究C
新型インフルエンザH1N1の病態把握と重症化の解明に関する研究	浮村 聡	総合内科	1,000,000	補 厚生労働省科学研究費補助金
統合失調症と感情障害の中間型に対する疫学調査	康 純	精神神経科	700,000	補 科学研究費補助金 基盤研究C
非定型精神病の全ゲノム関連解析法を用いた遺伝学的解明	金沢 徹文	精神神経科	2,200,000	補 科学研究費補助金 若手研究B
肝虚血再灌流前後の肝組織内ヒドロキシラジカルのリアルタイム定量的臨床的意義	内山 和久	消化器外科	1,000,000	補 科学研究費補助金 基盤研究C
膵臓癌細胞由来膜/核内タンパク質-自己抗体結合体を標的とした膵臓癌特異抗原の検索	宮本 好晴	消化器外科	1,000,000	補 科学研究費補助金 基盤研究C
非アルコール性脂肪性肝炎におけるキマーゼの役割	林 道廣	消化器外科	1,700,000	補 科学研究費補助金 基盤研究C
難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究班	内山 和久 (分担研究者)	消化器外科	400,000	補 厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業
非治癒因子を有する進行胃癌に対する胃原発巣切除の意義に関する国際共同研究	野村 栄治 (分担研究者)	消化器外科	700,000	補 厚生労働省科学研究費補助金がん臨床研究事業
手術手技の最適化による標準治療確立のための多施設共同研究	朝隈 光弘 (分担研究者)	消化器外科	800,000	委 厚生労働省高度医療専門センターがん研究開発費
ラットでの大動脈弁狭窄症術後肥大心筋の治癒過程の研究:エプレソロン投与は有効か?	小澤 英樹	心臓血管外科	700,000	補 科学研究費補助金 基盤研究C
ラットを用いた肺高血圧に対する新しい薬物治療アプローチ	根本 慎太郎	心臓血管外科	1,000,000	補 科学研究費補助金 基盤研究C

小計
17

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
虚血心筋ホーミングペプチドを用いた組織選択的心不全治療法	神吉 佐智子	心臓血管外科	1,300,000	補 科学研究費補助金 研究活動スタート支援
グリオーマ幹細胞を標的とした光線力学療法の開発：ポルフィリン排泄と分化の制御	黒岩 敏彦	脳神経外科	1,700,000	補 科学研究費補助金 基盤研究C
悪性脳腫瘍の光線力学診断法：分子機構の解明と診断への応用	黒岩 敏彦	脳神経外科	300,000	補 学術研究助成基金助成金（挑戦的萌芽研究）（分担者）
蛋白質セラピー法と中性子捕捉療法による難知性がん治療法開発	宮武 伸一	脳神経外科	1,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金（分担者）
初発膠芽腫に対する新規放射線化学療法による有効治療法確立のための臨床研究	宮武 伸一	脳神経外科	17,600,000	補 厚生労働科学研究費補助金（代表者）
腫瘍選択的高LET高RBE粒子線治療による治療抵抗性グリオーマ幹細胞制圧の試み	宮武 伸一	脳神経外科	5,200,000	補 科学研究費補助金 基盤研究B
脳放射線壊死の病態解析（治療戦略の構築に向けて）	宮武 伸一	脳神経外科	2,900,000	補 学術研究助成基金助成金（挑戦的萌芽研究）
蛋白質導入法の移植・再生医療ならびに脳腫瘍治療への応用を目指した基盤研究	川端 信司	脳神経外科	1,425,234	補 武田科学振興財団特定研究助成金（分担者）
アミノ酸付加-BSHを用いた新規硼ホウ素中性子捕捉療法による治療効果向上の試み	川端 信司	脳神経外科	2,100,000	補 科学研究費補助金 基盤研究C
脳放射線壊死の新規診断法とベバシズマブを用いた新規治療法の研究	古瀬 元雅	脳神経外科	1,500,000	補 科学研究費補助金 基盤研究C
悪性脳腫瘍術中蛍光診断の蛍光メカニズム解析と神経膠腫幹細胞への光線力学療法の応用	池田 直廉	脳神経外科	1,300,000	補 科学研究費補助金 若手研究B
がん細胞をターゲットにした光線力学療法および化学療法の開発	井上 洋人	脳神経外科	1,600,000	補 科学研究費補助金 若手研究B
脱シアロ化短半減期エリスロポイエチン誘導体を用いた中枢神経再生治療法の開発	三木 義仁	脳神経外科	500,000	補 科学研究費補助金 若手研究B
脳腫瘍治療後の病態解析における ¹⁸ F-BPA-PETの有用性に関する研究	嶽北 葉子	脳神経外科	1,800,000	補 科学研究費補助金 若手研究B
関節軟骨維持におけるヘパラン脱硫酸酵素（Sulf）の役割	大槻 周平	整形外科	1,130,000	補 科学研究費補助金 研究活動スタート支援
肩関節の生体力学的解析に基づく腱板断裂発症機構の解明	三幡 輝久	整形外科	1,800,000	補 科学研究費補助金 基盤研究C
小児期非アルコール性脂肪肝における酸化ストレス評価法の検討	玉井 浩	一般小児科	2,400,000	補 科学研究費補助金 基盤研究C

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
母乳分泌における脂質濃度調節機構の解析	瀧谷 公隆	一般小児科	800,000	補 科学研究費補助金 基盤研究C
新規レチノイドによる急性前骨髄球性白血病細胞分化のエピジェネティクス機構の解明	井上 彰子	一般小児科	1,500,000	補 科学研究費補助金 基盤研究C
小児起立性調節障害の新しいサブタイプの同定と、新治療法の効果に関する研究	田中 英高	発達小児科	1,100,000	補 科学研究費補助金 基盤研究C
高分子ミセルを用いた卵巣癌の癌幹細胞に対する標的治療の開発	大道 正英	婦人科・腫瘍科	700,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽
癌幹細胞をターゲットとした子宮内膜癌の浸潤・転移制御と分子標的治療への応用	寺井 義人	婦人科・腫瘍科	1,000,000	補 科学研究費補助金 基盤研究C
顆粒膜細胞におけるミトコンドリアDNA欠損が卵発育障害をおこすメカニズムの検討	山下 能毅	産科・内分泌科	1,000,000	補 科学研究費補助金 基盤研究C
子宮内膜癌に対するMPAの分子標的治療薬としての機能解析とその制御の検討	金村 昌徳	婦人科腫瘍科	800,000	補 科学研究費補助金 基盤研究C
癌幹細胞をターゲットとした卵巣癌の白金製剤耐性機構の解明とその制御	田辺 晃子	産科・内分泌科	900,000	補 科学研究費補助金 基盤研究C
顆粒膜細胞におけるアンドロゲンレセプター発現は卵胞発育に重要か？	林 篤史	産科・内分泌科	1,100,000	補 科学研究費補助金 若手研究B
糖尿病網膜症の硝子体中コラーゲンに対する自己免疫反応と病態との関連	池田 恒彦	眼科	1,100,000	補 科学研究費補助金 基盤研究C
活性化グリア細胞を介した網膜傷害に対するスタチンの抑制効果の検討	奥 英弘	眼科	1,300,000	補 科学研究費補助金 基盤研究C
緑内障モデルにおけるP2X7受容体活性化と網膜神経節細胞障害の関連性	杉山 哲也	眼科	1,000,000	補 科学研究費補助金 基盤研究C
瘢痕性眼表面疾患における眼瞼癒着に対するキマーゼ阻害剤の効果の検討	勝村 浩三	眼科	1,900,000	補 科学研究費補助金 若手研究B
視神経再生に関与する特異的マクロファージの探索	栗本 拓治	眼科	1,400,000	補 科学研究費補助金 若手研究B
インスリンによる血管作動性因子を介した摘出網膜血管の反応性と加齢による影響	喜田 照代	眼科	700,000	補 科学研究費補助金 研究活動スタート支援
P2X7受容体拮抗薬の緑内障モデルに対する効果の検討	杉山 哲也	眼科	476,000	補 科学研究補助金 基盤研究 C
頭頸部扁平上皮癌におけるプロスタグランジン受容体の解析とその臨床的意義	河田 了	耳鼻咽喉科	800,000	補 科学研究補助金 基盤研究 C
新しい虚血再灌流動物を用いた、内耳虚血の高圧酸素、エダラポン同時投与の治療効果	乾 崇樹	耳鼻咽喉科	1,000,000	補 科学研究補助金 若手研究 B
スギ花粉に対する表皮綿免疫療法の開発について -TSLPの機能解析を中心に-	寺田 哲也	耳鼻咽喉科	3,400,000	補 科学研究補助金 基盤研究 C

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
可視光の皮膚アンチエイジング効果に関する基礎的研究～DNA修復能に着目して	森脇 真一	皮膚科	1,100,000	補 科学研究補助金 基盤研究 C
神経皮膚症候群に関する調査研究	森脇 真一	皮膚科	1,000,000	補 厚生労働科学研究 費補助金難治性疾 患克服研究事業
コケイン症候群の病態解明および治療とケアの指針作成のための研究班	森脇 真一	皮膚科	1,200,000	補 厚生労働科学研究 費補助金難治性疾 患克服研究事業
Tregバンク (CD28SA+幹細胞共培養) 免疫寛容+MF1導入:移植腎永久生着	東 治人	泌尿器科	2,900,000	補 科学研究補助金 基盤研究 B
癌細胞選択的破壊による革新的浸潤癌膀胱温存治療「礫素膀胱局所動注中性子捕捉療法」	東 治人	泌尿器科	1,400,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
小胞体ストレス促進を利用した進行性腎癌治療	稲元 輝生	泌尿器科	700,000	補 科学研究補助金 若手研究 B
アロ活性化マクロファージによるアロ移植細胞拒絶機構の解析	能見 勇人	泌尿器科	700,000	補 科学研究補助金 若手研究 B
好中球エラスターゼ阻害剤による致死的放射線肺障害の防止に関する実験的研究	猪俣 泰典	放射線科	1,300,000	補 科学研究補助金 基盤研究 C
アクロメリン酸誘導体を用いた神経障害性疼痛治療薬の合成技術の開発と痛みの定量化	南 敏明	麻酔科	1,600,000	補 科学研究補助金 基盤研究 C
皮内での腫瘍細胞の増殖と拒絶を制御する免疫細胞と因子による新しい癌根治療法の開発	井畑 峰起	形成外科	900,000	補 科学研究補助金 若手研究 B
テネイシンWの頭蓋冠縫合における働き	三倉 文子	形成外科	1,200,000	補 科学研究補助金 若手研究 B
BMP-2と骨髄未分化幹細胞移植法を用いた広範囲顎顔面骨欠損修復への試み	植野 高章	歯科口腔外科	500,000	補 科学研究補助金 基盤研究 C
胎内肺傷害後の重症新生児慢性肺疾患患児における細胞外酸化還元環境の破綻	荻原 享	周産期センター	1,100,000	補 科学研究補助金 基盤研究 C
新生児慢性肺疾患の出生前発症誘導における酸化還元バランスの破綻について	長谷川 昌史	周産期センター	1,600,000	補 科学研究補助金 若手研究 B

小計
14
計
67

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Pathogenesis of Encephalitis 2011. p153-168. inTech.	Herpes Simplex Myelitis: Differences in Clinical Manifestations Between Herpes Simplex Virus Type 1 and Type 2.	Nakajima H	神経内科
Case Rep Neurol 2011;3 (3) :263-7.	Anti-aquaporin-4 antibody-positive neuromyelitis optica presenting with syndrome of inappropriate antidiuretic hormone secretion as an initial manifestation.	Nakajima H	神経内科
Geriatr Gerontol Int 11:275-281, 2011 (IF: 1.782)	Anhedonia in Japanese Patients with Parkinson' s disease.	Fumiharu Kimura	神経内科
Neurol Neurosurg Psychiatry 82:1244-1249, 2011 (IF: 4.791.)	Onset and spreading patterns of lower motor neuron involvements predict survival in sporadic amyotrophic lateral sclerosis. J	Fumiharu Kimura	神経内科
Cell Mol Neurobiol 30:991-999, 2010 (IF:3.861)	Development of an ultra-rapid diagnostic method based on heart-type fatty acid binding protein levels in the CSF of CJD patients.	H. Sugino	神経内科
Implication of disruption of blood-brain barrier. Journal of neuroimmunology	Increased serum matrix metalloproteinase-9 in neuromyelitis optica:	Takafumi Hosokawa	神経内科
Med Princ Pract. 20 (3) :291-3, 2011 (IF : 1.069)	Recurrent high-dose intravenous methylprednisolone succinate pulse therapy-induced hepatopathy in a patient with multiple sclerosis.	Kimura F	神経内科
臨床神経学51 (7) : 510-513, 2011	抗グルタミン酸受容体抗体陽性を示した可逆性脳梁膨大部病変を有する脳症の1例.	中嶋 秀人	神経内科
Am J Physiol Heart Circ Physiol 301 (3) :H1062-9, 2011 Sep	Inhalation of hydrogen gas attenuates left ventricular remodeling induced by intermittent hypoxia in mice	Hayashi T	循環器内科
Circulation 123:e410-412, 2011 April	Impressive echocardiographic images of a mitral valve aneurysm	Hotchi J	循環器内科
Cardiology 120 (1) :22-6, 2011	Giant tumorous lesions (correction of legions) surrounding the right coronary artery associated with immunoglobulin-G4-related systemic disease	Ikutomi M	循環器内科
J Vasc Surg 54 (4) :1233, 2011 Oct	Regarding "molecular diagnosis of nonaneurysmal infectious aortitis"	Ishizaka N	循環器内科

小計
12

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Jcardiol 58 (3) :199-207, Review, 2011 Nov	Gastrointestinal malignancies and cardiovascular diseases—non-negligible comorbidity in an era of multi-antithrombotic drug use	Ishizaka N	循環器内科
Journal of the Renin-Angiotensin-Aldosterone System 12 (4) :462-468, 2011 Dec	Liver lipid content is reduced in rat given 7-day administration of angiotensin II	Ishizaka N	循環器内科
Echocardiography 28 (8) : 870-876, 2011 Sep	A display of combined left ventricular function and dyssynchrony using doppler tissue imaging: its application in acute response to cardiac resynchronization therapy	Ito T	循環器内科
Mod Rheumatol 21 (3) :334-6, 2011 Jun	FDG-PET/CT of polymyalgia rheumatica	Kotani T	循環器内科
Lipids Health Dis 10:134, 2011 Aug	LXR agonist increases apoE secretion from HepG2 spheroid, together with an increased production of VLDL and apoE-rich large HDL	Kurano M	循環器内科
Echocardiography 28:369, 2011 April	Aortic tumor or mobile thrombus: detection by multislice computed tomography	Murai M	循環器内科
J Comput Assist Tomogr 35 (4) :475-9, 2011 Jul-Aug	Body size-adapted dose of contrast material and scanning protocol in 320-detector row CT coronary angiography	Tatsugami F	循環器内科
Exp Eye Res 93:818-24, 2011 Dec	Changes in optic nerve head blood flow, visual function, and retinal histology in hypercholesterolemic rabbits	Shibata M	循環器内科
Clinica Chimica Acta 413 : 577-581, 2012 Mar	Serum levels of IgG4 and soluble interleukin-2 receptor in patients with coronary artery disease	Sakamoto A	循環器内科
J Cardiology 59 (2) : 139-46 Epub 2011 Dec	Idiopathic retroperitoneal fibrosis, inflammatory aortic aneurysm, and inflammatory pericarditis—Retrospective analysis of 11 case histories	Sakamoto A	循環器内科
Circulation 125 (5) : 738-739, 2012 Feb	Three-Dimensional Architecture of Cardiomyocytes and Connective Tissues in Hypertrophic Cardiomyopathy A Scanning Electron Microscopic Observation	Kanzaki Y	循環器内科
Internal Medicine 51 (5) : 465-469, 2012 Mar	Two siblings diagnosed to have transthyretin-related familial amyloid cardiomyopathy around the same time at different hospitals	Miyamura M	循環器内科

小計

12

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Human Pathology 43 (7) : 1131-1134, 2012	Immunoglobulin G4-related coronary periarteritis in patients presenting with myocardial ischemia	Tanigawa J	循環器内科
Int J Cardiology 2012 Jan	Pioglitazone ameliorates systolic and diastolic cardiac dysfunction in rat model of angiotensin II- induced hypertension	Sakamoto A	循環器内科
Atherosclerosis 221 (2) : 602-3, Epub 2012 Feb	Serum levels of IgG4 and soluble interleukin-2 receptor in patients with abdominal and thoracic aortic aneurysm who undergo coronary angiography[Letter to Editor]	Sakamoto A	循環器内科
Eur J Pharmacol 682 (1-3) : 131-6, Epub 2012 Feb	Reduction of renal lipid content and proteinuria by a PPAR- γ agonist in rat model of angiotensin II-induced hypertension	Sakamoto A	循環器内科
Ningen Dock 25 (6) :1-5, 2011	Association between changes in waist circumference versus those in body mass index, and changes in cardiometabolic risk factors	Ishizaka N	循環器内科
J Cardiology 59 (2) :132-138, 2012 Mar	Multifocal fibrosclerosis and IgG4- related disease involving the cardiovascular system	Ishizaka N	循環器内科
J Cardiology 59 (2) :123-131, 2012 Mar	Infected aortic aneurysm and inflammatory aortic aneurysm --- In search of an optimal differential diagnosis	Ishizaka N	循環器内科
Journal of Pharmacological Sciences Vol. 117 (2011) No. 2 P 98-105	Effect of Efonidipine on TGF- β 1- Induced Cardiac Fibrosis Through Smad2-Dependent Pathway in Rat Cardiac Fibroblasts	Tatsuhiko Mori	腎臓内科
Bulletin of the Osaka Medical College ; 57 (1) : 9-16	Clinical Predictors of Pneumonia in Pediatric Influenza Virus Infection in H1N1pdm Pandemic Period	Kawakami C Ukimura A	小児科 総合内科
Mod Rheumatol. 2011 Jun;21 (3) :334-6	FDG-PET/CT of polymyalgia rheumatica.	Kotani T Makino S Ukimura A	総合内科 膠原病内科
Am J Physiol Heart Circ Physiol2011 Sep;301 (3) :H1062-9	Inhalation of hydrogen gas attenuates left ventricular remodeling induced by intermittent hypoxia in mice.	Hayashi T Ukimura A Ishizaka N	循環器内科 総合内科
Circulation. 2012 Feb 7;125 (5) :738-9	Three-Dimensional Architecture of Cardiomyocytes and Connective Tissues in Hypertrophic Cardiomyopathy.	Kanzaki Y Ishizaka N	総合内科 循環器内科
Human Pathology, 2012 Jun;43 (6) :818-25	Sarcoidosis does not belong to or overlap the IgG4 related diseases based on the assessment of serum IgG4 levels in cardiac and noncardiac sarcoidosis	Terasaki F Kanzaki Y	循環器内科 総合内科
Surgery	A novel method using the VIO soft- coagulation system for liver resection	F. Hirokawa	消化器外科
Experimental and Clinical Transplantation	Hepatitis A Virus-related Late- onset Hepatic Failure:A Case Report	M. Hayashi	消化器外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
The American Surgeon	Re-evaluation of the Necessity of Prophylactic Drainage after Liver Resection	F. Hirokawa	消化器外科
Asian Journal of Endoscopic Surgery	Safe anastomosis in laparoscopic low anterior resection for rectal cancer	J. Okuda	消化器外科
The American Surgeon	Clinicopathological risk factors for recurrence within one year after initial hepatectomy for hepatocellular carcinoma	M. Hayashi	消化器外科
Journal of Gastrointestinal Surgery	Appropriate treatment Strategy for Intrahepatic Recurrence After Curative Hepatectomy for Hepatocellular Carcinoma	F. Hirokawa	消化器外科
Surgery Today	Esthetic Result of Rhomboid Flap Repair After Breast-Conserving Surgery for Lower Quadrant Breast Cancer Lesion with Skin Invasion:Report of Two Cases	S. Tanaka	一般・乳腺内分泌外科
Microbiology and Immunology	Transgene number-dependent, gene expression rate-independent rejection of Dd-, Kd-, or DdKd-transgened mouse skin or tumor cells from C57BL/6 (CbKb) mice	Y. Inoue	消化器外科
British Journal of Surgery	Impact of single-port cholecystectomy on postoperative pain	M. Asakuma	消化器外科
Gastric Cancer	Functional outcomes according to the size of the gastric remnant and type of reconstruction following laparoscopic distal gastrectomy for gastric cancer	E. Nomura	消化器外科
Asian Journal of Endoscopic Surgery	The endoscopic surgical skill qualification system for gastric surgery in Japan	N. Tanigawa	消化器外科
Surgery Today	Hepatocellular Carcinoma with Right Atrial Tumor Thrombus:Report of a case	Y. Inoue	消化器外科
Surgical Endoscopy	Evaluation of the learning curve in laparoscopic low anterior resection for rectal cancer	H. Kayano	消化器外科
Journal of Gastrointestinal Cancer	Differential Diagnosis of Pancreatobiliary Carcinoma from Autoimmune Pancreatitis-Related Diseases:A Report of Three Cases	M. Hayashi	消化器外科
Journal of the American College of Surgeons	Laparoscopic Technique and Initial Experience with Knotless, Unidirectional Barbed Suture Closure for Staple-Conserving, Delta-Shaped Gastroduodenostomy after Distal Gastrectomy	S. W. Lee	消化器外科
ONCOLOGY LETTERS	Use of contrast-enhanced computed tomography in clinical staging of asymptomatic breast cancer patients to detect asymptomatic distant metastases	S. Tanaka	一般・乳腺内分泌外科

小計

14

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Breast Cancer	Versican G1 and G3 domains are upregulated and latent transforming growth factor- β binding protein-4 is downregulated in breast cancer stroma	Y. Takahashi	一般・乳腺内分泌外科
Endoscopy	Endoscopic pyloromyotomy : a new concept of minimally invasive surgery for pyloric stenosis	M. Kawai	消化器外科
J Mol Cell Cardiol.	Identification of targeting peptides for ischemic myocardium by in vivo phage display.	神吉 佐智子	心臓血管外科
Circ Heart Fail.	Stromal cell-derived factor-1 retention and cardioprotection for ischemic myocardium.	神吉 佐智子	心臓血管外科
Pediatr Cardiol.	Improvement of Cardiac Geometry and Function After Cardiac Resynchronization Therapy for Relapsed Deterioration of Pediatric Dilated Cardiomyopathy Due to a Noncompacted Left Ventricle and Cardiac Dyssynchrony.	佐々木 智康	心臓血管外科
Eur J Cardiothorac Surg	Repair of persistent truncus arteriosus without a conduit: sleeve resection of the pulmonary trunk from the aorta and direct right ventricle-pulmonary artery anastomosis.	根本 慎太郎	心臓血管外科
J Neurooncol	Repeated treatments with bevacizumab for recurrent radiation necrosis in patients with malignant brain tumor : a report of 2cases	Furuse M	脳神経外科
Applied Radiation and Isotopes 69	Boron neutron capture therapy for clear cell sarcoma (CCS): Biodistribution study of p-borono-L-phenylalanine in CCS-bearing animal models	T andoh	脳神経外科
J Neurooncol	The distribution of vascular endothelial growth factor-producing cells in clinical radiation necrosis of the brain: pathological consideration of their potential roles.	Nonoguchi N	脳神経外科
Neurosurgery	CT imaging of transferrin targeting liposomes encapsulating both boron and iodine contrast agent by CED to F98 rat glioma for boron neutron capture therapy.	Miyata S	脳神経外科
Gene Ther	Hepatocyte growth factor incorporated into herpes simplex virus vector accelerates facial nerve regeneration after crush injury	Esaki S	脳神経外科
Neuro Oncol	Enhanced expression of coproporphyrinogen oxidase in malignant brain tumors: CPOX expression and 5-ALA-induced fluorescence	Takahashi K	脳神経外科
Journal of Orthopaedic Science	Hallux valgus angle as a predictor of recurrence following proximal metatarsal osteotomy	Ryuzo Okuda	整形外科
Journal of Orthopaedic Science	Supination stress of the great toe for assessing intraoperative correction of hallux valgus	Ryuzo Okuda	整形外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Pediatr Int. 2011 Dec 14. doi: 10.1111/j.1442-200X.2011.03543.x. [Epub ahead of print]	Japanese clinical guidelines for chronic pain in children and adolescents.	Tanaka H	発達小児科
A Pilot Study. Behavioural and Cognitive Psychotherapy 2012; 40 : 271-285	Cognitive behavioural therapy for Japanese children and adolescents with anxiety disorders:	Tanaka H	発達小児科
Biopsychosoc Med. 2012 Mar 20;6:7	Functional near-infrared spectroscopy studies in children.	Tanaka H	発達小児科
NIRS基礎と臨床 酒谷薫編 新興医学出版社 pp205-210東京 2012年	小児起立性調節障害と脳循環障害	田中 英高	発達小児科
Climacteric. 2011 14 31-40.	Impact of platinum-based chemotherapy on the progression of atherosclerosis.	Sekijima T	産婦人科
Cancer Biology & Therapy. 2011 Jan;11 (1) 50-57.	Prognostic effect of epidermal growth factor receptor gene mutations and the aberrant phosphorylation of Akt and ERK in ovarian cancer.	Tanaka Y	婦人科腫瘍科
Fertility and Sterility. 2011 Mar;95 (3) 889-894.	Does advanced-stage endometriosis affect the gene expression of estrogen and progesterone receptors in granulosa cells?	Karita M	産科内分泌科
J. Obstet. Gynaecol. Res. 2011 May; 37 (5) 472-477.	Ovarian clear cell adenofibromatous tumor of borderline malignancy associated with high levels of carbohydrate antigen 19-9	Momotani K	産科内分泌科
J Obstet Gynecol Res. 2011 Sep;37 (9) 1250-1254.	Interstitial pregnancy treated by transcervical aspiration of gestational sac combined with systemic and local administration of methotrexate.	Kato S	産科内分泌科
Acta Cytologica. 2012 Jan;56 92-96.	Vaginal Stump Metastasis from Sigmoid Colon Cancer.	Tanaka T	産婦人科
Pathology International. 2012 62 P216-218.	Two cases of ovarian clear cell adenocarcinoma producing estradiol.	Tanaka T	産婦人科
Arterioscler Thromb Vasc Biol 31 (5) :1041-8.	Tissue Kallikrein Inhibits Retinal Neovascularization via the Cleavage of Vascular Endothelial Growth Factor-165.	池田 恒彦	眼科
眼臨紀2011;4 (4) :364-7.	癥痕期未熟児網膜症に白内障と閉塞隅角緑内障を続発した1例.	石崎 英介	眼科
臨床眼科 2011;65 (4) :475-9.	タフルプロスト点眼による原発開放隅角緑内障眼の視神経乳頭血流変化.	杉山 哲也	眼科
あたらしい眼科 2011;28 (4) :536-8.	両眼性弦月型先天性水晶体欠損の1例.	森下 清太	眼科
IOVS 2011;52 (5) :2153-9.	Disruption of gap junctions may be involved in impairment of autoregulation in optic nerver head blood flow of diabetic rabbits.	柴田 真帆	眼科

小計

16

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日眼会誌2011;115(5):440-6.	小児の間欠性外斜視に対する後転短縮術の治療成績:多施設共同研究.	菅澤 淳	眼科
眼臨紀2011;4(5):455-458.	若年性関節リウマチ治療中に急激な進行を呈した小児ステロイド白内障の1例.	森山 侑子	眼科
Clin Ophthal 2011;5:853-6.	A case of eosinophilic chronic rhinosinusitis associated with optic neuropathy.	栗本 拓治	眼科
臨床眼科 2011;65(6):981-5.	両眼で同時に乳頭血管炎を発症した1例.	中泉 敦子	眼科
あたらしい眼科 2011;28(6):817-8.	ヘルペスによる角膜穿孔.	清水 一弘	眼科
Clin Ophthal 2011;5:1063-6.	The first report on intermediate-term outcome of Ex-PRESS glaucoma filtration device implanted under scleral flap in Japanese patients.	杉山 哲也	眼科
眼臨紀2011;4(7):698-702.	外傷性網膜剥離と判断した鈍的眼外傷に起因する網膜分離の1例.	福本 雅格	眼科
Clin Ophthal 2011;5:1083-8.	Central retinal artery occlusion resembling Purtscher-like retinopathy.	栗本 拓治	眼科
あたらしい眼科 2011;28(7):1017-21.	ラタノプロスト・β遮断持続性点眼液併用による原発開放隅角緑内障の視神経乳頭血流の変化.	柴田 真帆	眼科
あたらしい眼科 2011;28(7):1047-9.	潰瘍性大腸炎に合併した半側網膜中心動脈閉塞症の1例.	中矢 絵里	眼科
Diabetes Frontier 2011;22(4):390-5.	特集 糖尿病網膜症診療の最前線 糖尿病網膜症における手術療法.	池田 恒彦	眼科
あたらしい眼科 2011;28(8):1182-6.	正常眼圧緑内障として長期経過した後Alzheimer病を発症した1症例.	布谷 健太郎	眼科
電気学会論文誌 C2011;131(9):1577-86.	重畳固視パターンを用いたスクリーニング用視野検査システム.	杉山 哲也	眼科
臨床眼科2011;65(9):1445-9.	硝子体手術既往のある血管新生緑内障に対する経毛様体扁平部挿入型インプラントの短期成績.	植木 麻理	眼科
神経眼科2011;28(3):326-34.	視中枢への投射を目指した眼炎症による視神経再生.	栗本 拓治	眼科
The Mystery of Glaucoma 2011;207-218.	Optic Nerve Head Blood Flow in Glaucoma.	杉山 哲也	眼科
IOL&RS 2011;25(2):233-236.	オートレフラクトメータで著しい遠視値を示した星状硝子体症の1例.	石崎 英介	眼科
IOVS 2011;52(10):7672-80.	Effects of Gelatin Hydrogel Containing Chymase Inhibitor on Scarring in a Canine Filtration Surgery model.	小嶋 祥太	眼科
眼科2011;53(7):917-21.	大幅に視力が回復した網膜中心動脈閉塞症の1例における3次元光干渉断層計所見.	奥野 高司	眼科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clin Ophthal 2011;5:1603-8.	Orbital apex Syndrome associated with herpes zoster ophthalmicus.	栗本 拓治	眼科
眼科手術 2011;24(4):489-93.	黄斑上膜自然剥離後に黄斑上膜再発をきたした3症例.	森山 侑子	眼科
IOVS 2011 52:9345-9352	Vulnerability of the Retinal Microvasculature to Hypoxia: Role of Polyamine-Regulated KATP Channels.	中泉 敦子	眼科
Exp Eye Res 2011;93:818-24.	Changes in optic nerve head blood flow, visual function, and retinal histology in hypercholesterolemic rabbits.	杉山 哲也	眼科
臨眼2011;65(13):1945-50.	漿液性網膜色素上皮剥離を伴う加齢黄斑変性に対するラニピズマブの有効性についての検討.	佐藤 孝樹	眼科
Glaucoma 2012;21(1):17-21.	Clinical Results of Selective Laser Trabeculoplasty in Open-angle Glaucoma in Japanese Eyes: Comparison of 180 Degree With 360 Degree SLT.	柴田 真帆	眼科
日本視能訓練士協会誌 2011;40:127-35.	偏心視の4症例—適切な補助具と生活指導—.	清水 みはる	眼科
眼臨紀2012;5(1):64-9.	外転神経麻痺のプリズム療法.	筒井 亜由美	眼科
あたらしい眼科 2012;29(1):123-5.	細菌性眼内炎治療後ソフトコンタクトレンズ装用者に発症した角膜潰瘍の1例.	中矢 絵里	眼科
あたらしい眼科 2011;28(臨増):15-8.	検査法および非観血的治療法:屈折矯正の基礎 視力.	中村 桂子	眼科
臨眼2011;65(13):1921-27.	出産前後のステロイド投与にて視機能が回復したリンパ球性下垂体炎の1例.	山田 哉子	眼科
Clin Ophthal 2011;5:1767-70.	23-gauge vitrectomy assisted by combined endoscopy and a wide-angle viewing system for retinal detachment with severe penetrating corneal injury: a case report.	森下 清太	眼科
日本の眼科 2012;83(3):286-90.	虚血性視神経症:実験動物モデルから治療法の確立へ	奥 英弘	眼科
Cell Mol Neurobiol 2012;32:95-106.	Nitric Oxide Potentiates TNF- α -Induced Neurotoxicity Through Suppression of NF- κ B.	中泉 敦子	眼科
眼科2012;54(2):159-64.	テルソン症候群の発症機序.	池田 恒彦	眼科
あたらしい眼科 2012;29(3):407-10.	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)眼感染症から角膜穿孔に至った乳児の1症例.	向井 規子	眼科
神経眼科 2012;29(1):74-9.	前部虚血性視神経症(AION)を合併した片側性急性後部多発性斑状色素上皮症(APMPPE)の1症例.	戸成 匡宏	眼科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Allergology International 2011;60(4), 449-57	Interleukin-19 downregulates interleukin-4-induced eotaxin production in human nasal fibroblasts.	Higashino M et. al	耳鼻咽喉科
Acta Oto-laryngologica 2011;131, 1214-19	Late nodal metastasis of T2 oral cancer can be reduced by a combination of preoperative ultrasonographic examination and frozen section biopsy during supraomohyoid neck dissection.	Lee K et. al	耳鼻咽喉科
Allergology International 2011;60(4), 533-39	Evaluating the effects of testing period on pollinosis symptoms using an allergen challenge chamber.	Yuki A et. al	耳鼻咽喉科
Allergology International 2011;60(4), 491-96	Clinical epidemiological study of 553 patients with chronic rhinosinusitis in Japan.	Yoshimura K et. al	耳鼻咽喉科
J Dermatol	5-Aminolevulinic acid (ALA) - mediated photodynamic therapy to superficial malignant skin tumors using Super LizerTM	Hirata Y	皮膚科
Jpn Clin Med	Identification of autoantibodies for α - and γ - enolase in serum from a patient with melanoma	Hiura Y	皮膚科
J Dermatol	Prenatal diagnosis of xeroderma pigmentosum group A in Japan	Moriwaki S	皮膚科
Exp Dermatol	Xeroderma pigmentosum complementation group G patient with a novel homozygous mutation and no neurological abnormalities	Moriwaki S	皮膚科
J Derm Sci	Decreased repair of singlet oxygen-induced DNA damage in xeroderma pigmentosum group A cells determined by plasmid host cell reactivation	Moriwaki S	皮膚科
J Dermatol	5-Aminolevulinic acid (ALA) - mediated photodynamic therapy to superficial malignant skin tumors using Super LizerTM	Hirata Y	皮膚科
Jpn Clin Med	Identification of autoantibodies for α - and γ - enolase in serum from a patient with melanoma	Hiura Y	皮膚科
J Dermatol	Prenatal diagnosis of xeroderma pigmentosum group A in Japan	Moriwaki S	皮膚科
Exp Dermatol	Xeroderma pigmentosum complementation group G patient with a novel homozygous mutation and no neurological abnormalities	Moriwaki S	皮膚科
J Derm Sci	Decreased repair of singlet oxygen-induced DNA damage in xeroderma pigmentosum group A cells determined by plasmid host cell reactivation	Moriwaki S	皮膚科
Journal of Magnetic Resonance Imaging, 34 : 557-562	Evaluation of Axillary Lymph Nodes by Diffusion-Weighted MRI Using Ultrasmall Superparamagnetic Iron Oxide in Patients with Breast Cancer : Initial Clinical Experience	Go Nakai	放射線科

小計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Interact. Cardiovasc. Thorac. Surg.	Risk factors of stroke and delirium after off-pump coronary artery bypass surgery.	Miyazaki, S.	麻酔科
J. Cardiothorac. Vasc. Anesth.	Clinical comparison of an echocardiograph-derived versus pulse counterderived cardiac output measurement in abdominal aortic aneurysm surgery.	Kusaka, Y.	麻酔科
麻酔	人工股関節置換術後における深部静脈血栓症の発症因子の検討	下山 雄一郎	麻酔科
麻酔	腹腔鏡下手術後痛に対するフルルピブロフェン、トラマドール塩酸塩の持続静脈内投与の効果の検討	三原 良介	麻酔科
Microbiol Immunol.	Spontaneous rejection of intradermally transplanted non-engineered tumor cells by neutrophils and macrophages from syngeneic strains of mice.	Ibata M	形成外科
形成外科	固定材料に関するクリニカル・クエッションを作成して	上田 晃一	形成外科
PEPARS	上口唇再建 マイクロサージャリーによる上口唇の機能再建	上田 晃一	形成外科
運動療法と物理療法	認知症は回復期リハビリテーションの阻害因子なのか？大腿骨近位部骨折の場合.	田中 一成	リハビリテーション科
European Journal of Applied Physiology	Local heat application to the leg reduces muscle sympathetic nerve activity in human.	Noriyo Takahashi	リハビリテーション科
A preliminary study-. J Craniofacial Surg. 22. 490-493. 2011.	Histological evaluation of human alveolar sockets treated with artificial bone substitute material.	Takaaki Ueno	歯科口腔外科
Implant Dentistry. 20 (5). 1-4. 2011.	Sinus augmentation surgery after endoscopic sinus surgery for the treatment of chronic maxillary sinusitis.	Takaaki Ueno	歯科口腔外科
Clin. Oral Impl. Res. (2012 Dec E-Pub Ahead DOI:10.1111)	Bone quality and quantity of the anterior maxillary trabecular bone in dental implants sites	Takaaki Ueno	歯科口腔外科
Odontology 100: 100-103, 2012	Nicorandil-induced tongue ulceration with or without fungal infection.	Haruhiko Terai	歯科口腔外科
a case report. Int J Oral Sci 4: 50-53 21012	Carcinoma ex pleomorphic adenoma of the sublingual gland	Yasunori Ariyoshi	歯科口腔外科

小計
14
計
149

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 黒岩 敏彦		
管理担当者氏名	診療情報管理室長 佐浦 隆一 中央放射線部長 鳴海 善文 病院看護部長 小野 恵美子 医療安全対策室長 村尾 仁 総務部長 門田 雅人 庶務一課長代理 中谷 尚文 医事課長代理 岡田 直起 医薬品安全管理責任者 西原 雅美 医療機器安全管理責任者 岩崎 孝敏	病院薬剤部長 勝間田 敬弘 広域医療連携センター長 黒岩 敏彦 医療安全推進部長 樋口 和秀 感染対策室長 浮村 聡 病院事務部長代理 木村 正士 庶務二課長 岩橋 朗	

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		庶務一課 医事課 診療情報管理室 中央放射線部 病院薬剤部	年度別に分類している
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務部人事課	
	高度の医療の実績	医事課 診療情報管理室	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	各診療科及び 病院薬剤部	
	高度の医療の研修の実績	各診療科	
	閲覧実績	医事課 診療情報管理室	
	紹介患者に対する医療提供の実績	各診療科	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課及び 病院薬剤部	
項規 第 一 号 に 掲 げ る 十 一 体 制 第 一 項 各 号 及 び 状 況 第 九 条 の 二 十 三 第 一	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全対策室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全対策室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全対策室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全対策室	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全対策室	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策室	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全対策室	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	広域医療連携センター	

(様式第12)

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染対策のための指針の策定状況	感染対策室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策室
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	病院薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	病院薬剤部 医療安全推進部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	病院薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	病院薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全推進部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学室 医療安全推進部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学室
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学室		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び
紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院事務部長代理 木村 正士
閲覧担当者氏名	広域医療連携センター 黒岩 敏彦、診療情報管理室 大坂 直文 病院事務部庶務一課 中谷 尚文
閲覧の求めに応じる場所	広域医療連携センター、診療情報管理室、庶務一課

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	70.5 %	算定期間	平成23年4月1日 ~ 平成24年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	16,858人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	12,745人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	600人	
	D: 初診の患者の数	30,089人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有) ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 安全管理に関する基本的考え方 医療に係る安全管理のための委員会及び本院の組織に関する基本的事項 医療に係る従業者への教育・研修に関する基本方針 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための基本方針 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 患者からの相談への対応に関する基本方針 その他の医療安全推進のために必要な基本方針 医療従事者と患者の間の情報共有に関する基本方針 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 安全の確保と安全の推進に係る検討課題について審議する 医療安全調査委員会や医療改善委員会の報告を受け、検討内容及び改善策を検証する 重大な問題が発生した場合は速やかに発生の原因を分析し改善策の立案及び実施並びに従事者への周知を図る 安全管理委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し見直し 安全対策に関するマニュアル等の検討及び見直し 安全に関する教育・研修及び啓発に関する活動内容について検討する その他、安全対策に関し活動の必要が生じた時は、関係各所と連携を図り適切に審議する 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 6 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 特別講演会：ノンテクニカルスキル、コーチングスキルについて外部講師を招いての講演、裁判所による医療訴訟ガイダンス 事例検討会：院内で発生した事例報告の情報共有、ロールプレイを用いたメディエーション研修 DVD上映会 年度内に実施した研修をDVDを用いて複数回上映会を実施 	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 ((有) ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 事故報告は当事者からRM・所属長を通じ医療安全対策室へ報告される。その後医療安全対策室で現場調査を行い、問題点の把握・分析を行う。 3b以上の事例については、推進部ミーティング、医療安全調査委員会にて審議し、今後の対応を検討する。 安全管理委員会に事例内容・課題・検討結果を報告し、必要に応じて医療改善委員会や事故対策会議等を開催する 	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有) (1 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) (名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有) ・ 無

(様式第13-2)

<ul style="list-style-type: none">所属職員： 専任（ 5 ）名 兼任（ 10 ）名活動の主な内容： 安全に関する報告書からの情報収集と集計及び分析 医療事故発生時の指示、指導及び現状確認 事故発生時の対応 患者家族への説明や対応の確認、当事者当該部署への対応 事故発生時の診療録記載に関する指導と助言 医療事故発生時の指示、指導及び現状確認 医療事故に関する原因究明と再発防止への取り組みについて指導 医療安全に関するマニュアルの整備と改訂 医療安全に関する教育活動（講演会・事例検討会）医療改善委員会の開催と準備 医療安全ニュースの発行と配布 安全管理委員会の議題検討及び資料作成と準備	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に対応される体制の確保状況	⑨ 有 ・ 無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有) ・ 無												
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.大阪医科大学附属病院(以下、「本院」という。)における院内感染対策に関する基本的な考えかた 2.院内感染対策のための委員会、その他本院の組織に関する基本的事項 3.院内感染対策のための職員研修に関する基本方針 4.感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5.院内感染発生時の対応に関する基本方針 6.患者等に対する本指針の閲覧に関する基本方針 7.その他の本院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針 8.本指針の改廃の手続きについて 													
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 12 回												
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.院内感染対策に関する基本方針及び院内感染対策実施に関する事項について協議する 2.院内感染発生時または発生が疑われる場合等の対応について協議する 3.院内感染対策指針及び院内感染対策に関する各マニュアル等の制定・改廃の承認について協議する 4.委員会が報告を受けた感染対策室の業務内容について必要に応じて協議する 5.委員会が感染対策室より報告を受けた院内感染に関する教育及び啓発に関する活動内容について必要に応じて協議する 6.小委員会の協議内容について必要に応じて協議する 													
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 5 回												
<p>・ 研修の主な内容：</p> <table border="1" data-bbox="231 1209 1436 1769"> <thead> <tr> <th data-bbox="231 1209 683 1249">演題</th> <th data-bbox="683 1209 1436 1249">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="231 1249 683 1317">生物学的製剤と結核</td> <td data-bbox="683 1249 1436 1317">生物学的製剤を使用した患者が結核を発症した事例を紹介し、今後の結核対策へと繋がるような内容</td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 1317 683 1422">標準予防策シリーズ シーズン3『スーパークールピズと標準予防策』</td> <td data-bbox="683 1317 1436 1422">標準予防策シリーズの第3弾として、標準予防策をわかりやすく伝えた内容</td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 1422 683 1527">サーベイランスについて～必要性と今後の取組み～</td> <td data-bbox="683 1422 1436 1527">サーベイランスと診療報酬、サーベイランスをすることで質の向上へつながること、その為に今後もサーベイランスを行っていくとの内容</td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 1527 683 1668">院内感染対策と感染症適正診療を結ぶ実践論</td> <td data-bbox="683 1527 1436 1668">京都大学医学部附属病院 感染制御部 副部長・准教授 高倉 俊二 先生をお招きし、実際の事例を挙げた院内感染対策や抗生剤などの適正使用についての内容</td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 1668 683 1769">私立医科大学病院に、今、求められる感染対策について</td> <td data-bbox="683 1668 1436 1769">サイトビジットを受けるにあたり、私立医科大学病院での求められるレベルや実際に行っているハード面の整備についての内容</td> </tr> </tbody> </table>		演題	内容	生物学的製剤と結核	生物学的製剤を使用した患者が結核を発症した事例を紹介し、今後の結核対策へと繋がるような内容	標準予防策シリーズ シーズン3『スーパークールピズと標準予防策』	標準予防策シリーズの第3弾として、標準予防策をわかりやすく伝えた内容	サーベイランスについて～必要性と今後の取組み～	サーベイランスと診療報酬、サーベイランスをすることで質の向上へつながること、その為に今後もサーベイランスを行っていくとの内容	院内感染対策と感染症適正診療を結ぶ実践論	京都大学医学部附属病院 感染制御部 副部長・准教授 高倉 俊二 先生をお招きし、実際の事例を挙げた院内感染対策や抗生剤などの適正使用についての内容	私立医科大学病院に、今、求められる感染対策について	サイトビジットを受けるにあたり、私立医科大学病院での求められるレベルや実際に行っているハード面の整備についての内容
演題	内容												
生物学的製剤と結核	生物学的製剤を使用した患者が結核を発症した事例を紹介し、今後の結核対策へと繋がるような内容												
標準予防策シリーズ シーズン3『スーパークールピズと標準予防策』	標準予防策シリーズの第3弾として、標準予防策をわかりやすく伝えた内容												
サーベイランスについて～必要性と今後の取組み～	サーベイランスと診療報酬、サーベイランスをすることで質の向上へつながること、その為に今後もサーベイランスを行っていくとの内容												
院内感染対策と感染症適正診療を結ぶ実践論	京都大学医学部附属病院 感染制御部 副部長・准教授 高倉 俊二 先生をお招きし、実際の事例を挙げた院内感染対策や抗生剤などの適正使用についての内容												
私立医科大学病院に、今、求められる感染対策について	サイトビジットを受けるにあたり、私立医科大学病院での求められるレベルや実際に行っているハード面の整備についての内容												
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況													
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有) ・ 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.週1回、院内感染情報レポートを作成し上層部へ発生状況の報告を行う 2.各種小委員会、担当者会議等、会議を通して発生状況の報告を行う 3.定期的なサーベイランスおよび病棟巡回を通じて院内感染対策活動の推進と改善とともに、適正な抗菌薬の使用についての介入を実施 4.ICT-Newsを全部署に配布し、院内感染対策の推進を行う 													

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有) ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 69 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病原微生物と抗菌薬の話(PK-PDについて)(対象:薬剤師・看護師) ・血中濃度について(薬物動態、対象となる薬剤など)(対象:医師・看護師・薬剤師) ・簡易懸濁法について(対象:看護師・薬剤師) ・糖尿病療養指導に必要な薬物療法の知識(対象:看護師・薬剤師) ・疼痛緩和について①②(対象:薬剤師) ・医薬品安全管理に関する事例検討 -ハイリスク薬関連のエラーを中心に-(対象:各RM) ・東日本大震災 支援活動報告(今後の課題) 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 ((有) ・ 無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品の採用・購入に関する事項 2. 医薬品の管理に関する事項 3. 病棟・各部門への医薬品の供給に関する事項 4. 患者に対する医薬品の使用(処方・調剤・服薬指導など)に関する事項 5. 医薬品情報の収集・管理・提供に関する事項 6. 他施設(病院・薬局等)との連携に関する事項 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 ((有) ・ 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 厚生労働省新着情報配信サービス・医薬品医療機器情報提供HPなどWEBによる情報収集、製薬メーカー・卸などから直接的に情報収集 2. 情報入手当日もしくは翌日の薬剤部内朝礼で情報伝達 3. 緊急性に応じて「薬剤部情報」「緊急薬剤部情報」を作成し院内各部署へ配布 4. 処方医師に確実に伝達が必要な場合には、処方医リストを作成しDI室から直接処方医、該当する診療科の薬事委員に連絡すると共に、病棟薬剤師が個別に情報伝達 5. 院内版薬剤部HPに新着情報掲載 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(有) ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	延べ年 68 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 採用時研修 ・ 更新機器の使用説明 ・ スキルアップのための講義 (人工呼吸・人工心肺・血液浄化・補助循環など) 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の作成 (有) ・ 無) ・ 保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定保守管理機器は、院内において定期点検を行うとともに、メーカーでの保守点検も実施している。 ・ 放射線関連、生命維持管理装置（一部）などについては、保守契約で定期点検を実施している。 ・ 保守契約していないものについては、点検計画月にメーカーへスポット的に依頼し定期点検を実施している。 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有) ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報収集は、メール配信サービスの活用と、納入業者との情報交換を密にすることで行っている。 ・ 院内だけでなく、公表された他施設での事例についても当院で問題がないか検証し、同様の事態にならぬよう改善策をたて実行 ・ 医療機器安全管理委員会を定例開催し、各職種の委員から現場での問題などの情報を収集する 	